



## 五つの実際 その三

# 「ころの友伝道奉仕者の受け持つ対象」



日本キリスト教団  
西川口教会  
(埼玉)  
かねださくこ  
牧師 金田佐久子

「高い山に登れ 良い知らせをシオンに伝える者よ。力を振るって声をあげよ 良い知らせをエルサレムに伝える者よ。」（イザヤ 40:9）

1. “ころの友奉仕者の担当する求道者は、奉仕者の集まりで祈り、話し合った上で決定されます。その場合、性別、年齢、距離、社会人が学生か等の事情も考慮して、最終的には牧師の責任で決定されます。”

（「ころの友伝道の手びき」より）

西川口教会のころの友伝道奉仕者の会は「アンデレ会」といいます。「アンデレ会」は教会の組織上「伝道牧会部」のもとにあります。定例会を第4日曜日の礼拝後に行っています。定例会には牧師も出席しています。現在、アンデレ会奉仕者は9人です。奉仕者の中には、コロナのために自粛している人、体が弱くなり定例会に出られない人もおります。定例会では、新来者や再来者、求道者の状況について報告され、情報を共有しています。以前には、手引きのように担当者を決めましたが、現在は、洗礼を志願するまでの求道者はおらず、祈り続けているところです。

2. “教会に一度といわず出席する求道者は勿論ですが、求道者の少ない（或は殆ど来ない）場合もあるので、ころの友奉仕者の生活の周辺で求道者が起されるように祈り、誘って、求道を志す友を生み出すところから考えることも大切です。”（手びきより）

西川口教会では、現在、新来者は以前に比べて少なくなっています。コロナの影響もあるでしょう。1年ほど前、数か月礼拝に通われた方々と牧師が礼拝後に信仰入門の時間をしばらく持ちましたが、洗礼を勧めた後、礼拝に来られなくなりました。教会員が家族や友人を誘ってもなかなか難しいです。忍耐が必要です。

しかし教会の身近には、関係する人がたくさんおられるのです。礼拝に何度か来られた方、キリスト教主義学校の生徒さん、学生さん、教会員のご家族（親御さん、お連れ合い様、お子さん、お孫さん、ご近所の方）は決して少なくないのです。アンデレ会の定例会では、上記の人々のうち、約70人のお名前を上げて執り成し祈っています。その方々に、月報「西川口だより」や教団出版局の「ころの友」を送付して、教会が覚えて祈っていることを伝えています（月報の発送は牧師が担当。「ころの友」発送はアンデレ会の担当）。こうして、種を蒔き続けています。

そのように執り成し祈り続けているお一人の方を、クリスマスイブ礼拝にお誘いしましたら、久しぶりに来会されて、再会を喜びました。

主に望みをおいて、祈り、お声掛けをしていきます。

3. “またころの友奉仕者の対象として、長期欠席者も含みたいものです。この場合も奉仕者の集まりで話し合いの上決定される必要があります。”（手引きより）

アンデレ会では、長期欠席者は対象にはしておらず、伝道牧会部の担当としています。